令和９年度（2027年度）入学者選抜における

学校裁量について

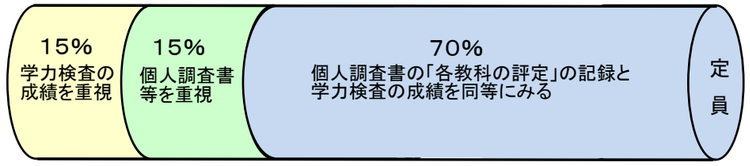
【 表 の 見 方 】

数字が書かれている学科で推薦入学者選抜を行います。数字は募集人員のうち、推薦による入学者の範囲の程度を%で示しています。「＊」を付している数字は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数のうち、推薦による入学者の範囲の程度を%で示しています。

推薦入学者選抜では、全ての学科で面接が実施されます。実施形態を〇で記入しています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。
（例） 数・理・英(1.5)
数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各150点満点となります。

一般入学者選抜における選抜



学区	学校名	学科名	推薦入学者選抜															一般入学者選抜									
			入学枠（%程度）	面接		面接以外に実施する項目				個人調査書								学力検査等の実施					複数尺度による選抜で重視する項目				
				個人	集団	英語の聞き取りテスト	英語による問答	実技	作文	学習の記録	総合的な学習の時間	特別活動	総合所見等 奉仕活動	総合所見等 スポーツ活動、文化活動	総合所見等 資格・検定試験等	総合所見等 その他		学力検査の傾斜配点 教科（倍率）	実技	面接 全員 個人	面接 全員 集団	面接 過年度卒 個人	学力検査の成績を重視 学力：評定	個人調査書等を重視 評定：学力	個人調査書等を重視 個人調査書 特別活動の記録	個人調査書等を重視 個人調査書 総合所見等	実技等
胆振	苫小牧総合経済	流通経済	50	○						○	○	○	○	○	○	行動の記録							８：２	８：２	○	○	
		国際経済	50	○						○	○	○	○	○	○	行動の記録							８：２	８：２	○	○	
		情報処理	50	○						○	○	○	○	○	○	行動の記録							８：２	８：２	○	○	

選抜に当たって、面接や実技などを重視する場合に、重視する内容を記入してあります。

普通教育を主とする学科以外の学科については、道内全域です。

学校名・学科名の表記は、6月に発表の公立高等学校配置計画案に基づいています。

英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文のうち、学校裁量で行う項目について〇を記入しています。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって評価の対象とする項目に〇（「その他」については具体的な内容）を記入してあります。「総合所見等」の評価の観点は、活動歴や大会、資格・検定試験等の結果のみではなく、活動からうかがうことのできる生徒の長所、個性や意欲、能力などとし、それぞれの観点をバランスよく評価することとします。

※なお、スポーツ活動・文化活動には、
学校部活動や地域クラブ活動を含みます。

実施する内容に〇を記入しています。「過年度卒」の〇は、過年度卒業者のみを対象とした面接の実施を表しています。

学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定」の記録との重視の比率を表します。

個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって参考とする項目を〇で記入しています。

注）今後発表される公立高等学校配置計画や市町村教育委員会の決定などにより変更されることがあります。